



一般質問から

「障害者差別解消法」の取組みの推進について

Q 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が平成28年4月より施行されますが、社会的な認識が広まっているとはいえ、周知徹底していくため、どのような取組みをされるのか。

18番 武之内 清久
また、市民の方にも広く障害者差別解消法を理解していただくために、広報紙やホームページ等を通じて、法律の趣旨等について周知を図ってまいりたいと考えております。

A 市といたしましては、障がいのある方が障がいを理由として差別されることがないよう、民間事業者に対しまして、障害者差別解消法を周知するため、啓発リーフレットを配布するとともに国が作成した対応指針などを紹介してまいりたいと考えております。

高等教育機関の誘致について

Q 市が誘致を目指す高等教育機関とは具体的にどのような高等教育機関なのかをお伺いいたします。

6番 林 雄一
門学校、国立大学法人、公立・私立大学、公私立短期大学等のことをいいます。

A 高等教育機関の誘致につきましては、第4次八潮市総合計画後期基本計画においては、「第5章はぐくみ」に位置づけられております。

また、平成28年度から始まります、第5次八潮市総合計画においても、「第1章教育文化・コミュニティ」に位置づけられております。

本市としましては、地域の教育、文化水準を向上させるとともに、地域産業の振興、活性化を図るため、誘致活動を行っておりますが、活動に当たっては、相手があることでございますので、対象の絞り込みは行わず、幅広く、活動してまいりたいと考えております。

高等教育機関とは、文部科学省の定義によりますと、高等専

第6期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

Q 平成29年度までの第6期介護保険計画が始まりました。第4期からは「小規模多機能型居宅介護」が、第5期では「特別養護老人ホーム」の新設が計画されましたが実現しましたか。

2番 高波 幸雄
ありました。それを踏まえ事業者と協議を進め、平成28年度中に開設の予定です。

A 平成27年10月に高齢者保健福祉推進審議会が行われ、「小規模多機能型居宅介護」及び「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」サービスを行う事業者選定に係る答申が

県道松戸・草加線（都市計画道路草加・三郷線）について

Q 埼玉県が現在、施行している柳之宮橋の架け替え整備について事業の進捗状況及び整備予定についてお尋ねします。

15番 中嶋 善文
台風18号接近時、綾瀬川がはん濫危険水位を超過した事を踏まえ、施工時の河川への影響・安全性等の再検討を行っていることでした。今後の予定は、

A 現在の進捗状況は、柳之宮橋の構造形式・護岸形状・交差点形状等の詳細な内容を検討し、河川管理者の国土交通省江戸川河川事務所、警察等の関係機関と協議を進めるため、橋梁架け替え事業に伴う影響範囲部分の現況測量業務と柳之宮橋詳細設計業務について、平成28年3月の完了予定で、既に実施していることでした。今年9月の

市としては県に協力し、情報を共有し柳之宮橋の早期架け替え整備に向け努めてまいりたいと考えております。

ストレスチェック制度について

Q 労働安全衛生法の改正により、12月1日からストレスチェックと面接指導等の実施が従業員50人以上の事業所に義務付けられ、自治体も対象となつております。職員への周知や実施方法について伺います。

3番 矢澤 江美子
議し、決定した事項については、速やかに、庁内LAN等により職員への周知を図ってまいります。

A 「制度の目的に係る周知方法」、「実施体制」、「実施方法」等については、市衛生委員会が調査審議するものとされています。

詳細については、産業医から医学的見地の意見をいただきながら衛生委員会に諮っていきま

小中学校の教育の充実について

Q 小中学校の授業の準備、教材研究など、子どもへの対応に影響が出るものと思われる教員の多忙化を市教育委員会としてどのように把握しているのでしょうか。また対策は。

9番 池谷 和代
負担軽減検討委員会では、「行事など教育課程の見直し・精選に関する事」、「会議の効率化に関する事」、「文書事務の効率化に関する事」などを中心に計4回の会議を設けました。

A 教育委員会では、平成26年8月に教職員の勤務状況の実態を把握し、負担軽減の取組方策に関する基礎資料作成のため、小中学校別に「教員の勤務に関するアンケート」を実施しました。

さらに、昨年10月「八潮市小中学校負担軽減検討委員会」を立ち上げたところで